

1 教材解釈（⑩～㉔段落）

スージーばかり自分へ全く関心を向けない母、また自分の家具を次々にスージー用にぬってしまう父に抵抗するため、スージーは家出した。イスを守るためもあったが、家出の大きな理由は、父母の関心を自分に向けることだった。だからあえて、「大声を上げてイスを持って部屋へ駆けて行った」し「赤ちゃんの写真」を持って行ったのだ。手際よく犬のエサも詰め込み、犬のウイリーも慣れたように骨をくわえて付いて行く。いやなことがあって家出するのは初めてではないだろう。その後ピーターは、わざわざすぐ見つける場所に陣を構え、持っていったものを「きちんとならべ」、探しに来た父母に見えるようにしている。昼飯のため母が呼ぶ声が聞こえる場所を選んだのも、母が呼ぶまで「しばらく」は、小さい頃からのイスに座って、自分も構ってほしい気持ちを抗議するためだった。

ところが、久しぶりに座ろうとしたイスにおしりが入らないと分かったとき、ピーターは驚き、愕然としてしまう。自分は「大きくなりすぎていたんだ」と。それは家出の目的が吹っ飛ぶくらいショックなことだった。その後、大きすぎる体と今までの自分の心のアンバランスさに揺れ、赤ちゃんじみたそれまでの自分の行動に気づく。「体はこんなに大きくなっているのに、やっていることは小さい子だ」と思ったピーターは課題をもって「考え」始める。それは「体の大きさに合った行動」とは何かということだった。それまでの、「家出を繰り返しては呼ばれて帰るような自分を変える」ピーターはあれこれと考え始め、そしてとうとう「いいこと」を思いつく。その考えは、母が呼びに来た時には決めることができていた。「いいこと」は、母に対してと、父に対してあったと考える。二人に対して抗議するために家出したピーターは二人に「いいこと」を考えたことで、呼ばれなくても自分から家にもどった。

母に呼ばれた時「聞こえないふりをした」のは、「いいこと」の実行の始まりだった。まず今までとは違うパターンで母を驚かせる。そしていよいよ父の前でも「いいこと」を実行に移した。それまでのピーターの行動は、小さなイスに座る小さい子そのものだった。でも今は違う。「ちっちゃないすは、スージーのために」と自分から提案することは、体だけでなく心も大きくなった自分が決めた「いいこと」だった。それまで、「スージーのために」など考えたことがなかったピーターが大変身し、小さなイスには似合わない大きな体に合った大きな心を、行動に移したのだ。ピーターのいすは、「いいこと」の考えを決めたピーターにとっては、体だけでなく、家出前の自分の心と比較しても「ちっちゃく」なった。

- ・「ところが」…前件に対して後件が予想・期待されるのとは反する結果になるという関係にあること。
- ・「…すぎる」…度を越す＜新明解＞過度。価値的に一般基準をはるかに上回る。＜基礎日本語辞典＞
- ・「考える」…経験や知識を基にして、未知の事柄を解決しようとして頭を働かせる。＜新明解＞
- ・「よい」…標準より優れて（基準にかなって）いる状態だ。＜新明解＞
- ・「ために」…何らかの意味でその存在にとってプラスになるように念じてすること。＜新明解＞

2 目標（4・5/5時）

守ろうとしたいすを「ピンクにぬろう」といったわけを考える中で、「考える」のイメージや意味を使いながら「いいこと」に関する問題づくりや追求を楽しみ、「いいこと」の内容を読み取る。

3 展開案（核となる発問など）＜ただし授業は立体的に行う＞

○どうして守りたかったイスをピンクにぬろうと言ったのか。

○体が大きくなっていて、うれしかったのか。驚いたか。どのくらい驚いたか。

○「考える」とは何をかんがえていたのか。（考え始めや、考え終わりはどこか。）

○「いいこと」って何？どこまでが「いいこと」なのか？母に対してだけか？

主な発問と核となる語句	予想される反応	気づいてほしい教えたいこと	留意点や支援
1 昨日考えた大問題を気にしながら⑫～㉑まで読もう。	○番号で交代読み。 ○先生も入ってね。	○今のせいいっぱいの読みを楽しむ。	○その子なりの表出や表現を見つける。教師が表現を楽しみ、聴ける子に。 ○共通課題を膨らませたら認める。
大問題 どうしてイスをピンクにぬろうと言ったの			
2 どうして変だなと思ったの。	○自分のイス。守ろうと家出までしたのに。	○疑問がふくらむから勉強がスタート。	○初めのイメージ確認。
3 はじめの考えを出そう。	1 もういないから 2 1 以外（お兄ちゃんになろうなど）	○それぞれのイメージの違いに気づく	○違いの表明を大事に。
4 考えのちがいや理由から、問題ができるかな。	1 まだ怒っている ②何か考えなくちゃ	○どこでそう思ったのかから、問題見つけにつなげる。（まず問題を見つけ、発言、変えられる賢さ。）	○整理・分類する。
⑤ いないならなぜすぐにぬろうって帰らなかったの？			
も体が大きくなっていて、うれしかった？			
「ところが」 「…すぎる」	① すごく驚いた 2 うれしかった	○うれしかったら考えない、を引き出した	○「考える」課題が生まれたのは今のままでは体に合わないという思い。
⑤ 「考える」ってなに？			
「かんがえる」	① 考えなくちゃいけないことが出て、あれこれ考える。 2 思う	○「考えた」から、考え始めがあることに気づかせる。	○子どもなりの整理・分類・対立・解決を楽しむ。
⑤ 考え始めはどこ？			
も何を考えていたの？			
① ⑮の後（驚いた後） 2 ①以外	1 どうやってお母さんを驚かすか ② お母さんだけじゃないお父さんにも	○「考える」の意味を伝える。解決したい課題が生まれたこと。	○母を驚かすことだけが「いいこと」とこだわる時は、前時までの家出の目的を確認させ、父への関わりを思い出させる。
も「いいこと」って何だろう。			
「よい」	1 母を驚かす考え ② 1 と、父を驚かす考え（スージーのために）	○1は「いいこと」の始まりにすぎない。 ○「よい」を例文や生活体験からイメージしていく。	○21の「」を切って、「あの」「ちっちゃな」など言葉のイメージを発言させる。適宜意味も伝える。
⑤ どこまでが「いいこと」？			
「あの」 「ちいちゃな」 「ために」	1 20まで ② 21まで	○21の内容のレベルの高さを伝える。 ○21の「あの」「ちいちゃな」に気づく。	
本当の大きい子になりたかったから、スージーのためになる「いいこと」をして、ペンキでぬったんだ。			
5 問題がうかんで、考えて、始めの考えと変わったかな。	○自分の大きさに驚いて、大きい子になって「いいこと」しなくちゃと思った。	○「スージーのためペンキをぬる」ことと、「いいこと」との関係を明確にさせる。	○イメージが変わったり深まったりしたかの確認。 ○発見や感想とともに。

④時 VTR④> NO.3
・この授業、教師の解説(子役と同じ特効たけ)はズル
T50... みんなが言うように、考える(大人数にすれば、ビシッ
に) 必要は、ここが面白いから
T51 何を考えた
T52 大人の人にすれば... (T お母さんにはすればいい?)
T53 それは もう少し先だと思
T54 あ、いたるやうに先に 大人数にすればいい? (T お母さんには
いかに... だれに言う? (C お父さん) お父さんに言う
ことも考えたら、その後で お母さんに言う、いたるやう
に、お母さん... ちよと ちよと... (C はい) はい
お母さんには... ちよと ちよと... お父さんには... ちよと (C はい)
T55 ビシッ! 考えた? (C はい) はい
T56 「いいよ」とお母さんには、男の子には... お父さん
T57 男の子にも考えた? (C はい) はい
T58 男の子にも考えた? (C はい) はい
T59 男の子にも考えた? (C はい) はい
T60 男の子にも考えた? (C はい) はい

(19:15)
T50... ビシッ! 考えた? (C はい) はい
T51... ビシッ! 考えた? (C はい) はい
T52... ビシッ! 考えた? (C はい) はい
T53... ビシッ! 考えた? (C はい) はい
T54... ビシッ! 考えた? (C はい) はい
T55... ビシッ! 考えた? (C はい) はい
T56... ビシッ! 考えた? (C はい) はい
T57... ビシッ! 考えた? (C はい) はい
T58... ビシッ! 考えた? (C はい) はい
T59... ビシッ! 考えた? (C はい) はい
T60... ビシッ! 考えた? (C はい) はい